

報道関係者各位

2016年7月5日 発行

リクルートテクノロジーズ、NTT データと共同実験開始 ゼクシィ相談カウンターに、コミュニケーションロボット「Sota™」設置 ーロボット3体との対話による、来店者様の行動変化を検証ー

株式会社リクルートテクノロジーズ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北村吉弘、以下:リクルートテクノロジーズ)は、2016年7月2(土)・3(日)・9(土)・10(日)日の4日間、ゼクシィ相談カウンター※1にコミュニケーションロボット「Sota™(ソータ)」※2を設置し、「ロボットと人間のコミュニケーション」に関する実験検証を行います。来店者様は3体設置されたロボットとの対話を通じて、ジュエリーに関する情報提供や指輪診断といったサービスを受けることができます。

本取り組みは、「複数のロボット同士の対話が、来店者様の指輪に対する関心や購買意欲に変化を与えるか」など、ロボットとのコミュニケーションによる人間の心理変化・行動変化を検証することにより、ロボットの新しいマーケティング活用の可能性を探ることを目的としています。

※1 全国に67店舗展開しており、プロのアドバイザーが結婚式場に関するサポートを実施します。来店者様は、結婚式場だけでなく、ドレスや指輪に関する相談も行えます。

※2 ヴィストン株式会社が開発した身長28センチのコミュニケーションロボットです。画像認識、音声認識、音声合成等を用いたアプリ開発が容易にできることが特徴です。「Sota™」はヴィストン株式会社の商標です。

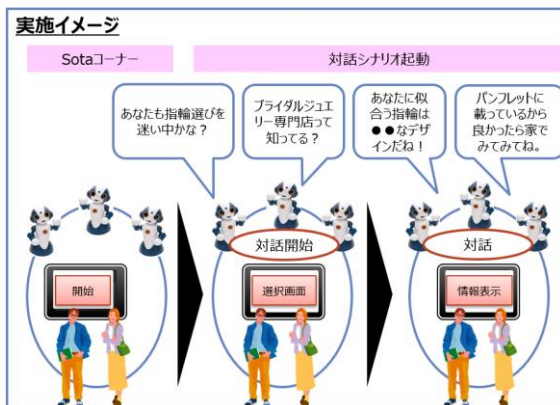
①共同実験の背景ーロボット同士の対話は人間の購買活動にどのような影響を与えるのかー

これまでリクルートテクノロジーズは、独自の対話エンジン※3を開発するなど、ロボットの対話精度向上をはじめとする「技術面」の探求に力を入れてきました。今回は、株式会社NTTデータ(本社:東京都江東区、代表取締役社長:岩本 敏男、以下:NTTデータ)との共同コンテンツ開発により、ロボット同士の対話に人間はどう影響されるかという「心理面」での検証に着手します。

検証では、結婚式場やドレス、指輪などに関して相談に訪れた来店者様がターゲットのため、基本的に2人ずつでの来店を想定しています。



▼ Sota 対話イメージ



例えば「来店者様2人とSota3体」など、人間よりロボットが多い状況の中でロボット同士が対話することにより、人間の購買意欲に変化が起こるかを検証します。

今までの取り組みでは、ロボットと人間の対話は、雑談ベースのみで行われるケースも多く、主に店舗などへの「呼び込み役」としての活用を期待されてきました。今回は、来店者様に対し、ジュエリーに関する情報提供をするなど、「営業力」としての活用も視野に入れ、ロボットの新たなマーケティング活用の可能性を探ります。

※3 リクルートテクノロジーズ内の研究開発機関アドバンステクノロジーラボ(以下、ATL)では、自然言語処理技術を活用して独自の対話エンジン「TAISHI」を開発しています。これまでの事例としては、ソフトバンクロボティクス株式会社が開発・提供する人型ロボット「Pepper」へ「TAISHI」を独自に導入し、株式会社リクルート住まいカンパニーが運営する「スーモカウンター」の接客担当として設置するなど、様々な活用・実証実験を行ってきました。

②ゼクシィ相談カウンターへ、コミュニケーションロボット「Sota™」を導入。共同検証を期間限定で実施

2016年7月2(土)・3(日)・9(土)・10(日)日の4日間、「コミュニケーションロボットによるカスタマー向けジュエリー情報提供システム」を「ゼクシィみなとみらいカウンター」および「ゼクシィ町田カウンター」に導入し、来店者様に対して、指輪診断やジュエリー基礎知識の情報提供をします。

「パンフレットへの興味喚起(手に取る、持ち帰るなどのアクションの有無)」・「ロボットとのインタラクション数」といった情報を評価することにより、マーケティング施策としての有効性を検証します。

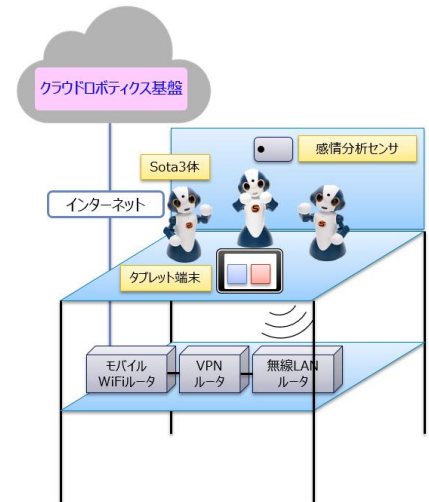
【使用機材】

- Sota3 体 ● タブレット端末 ● センサー※4
- 無線 LAN ルータ ● VPN ルータ ● モバイル WiFi ルータ
- クラウドロボティクス基盤※5

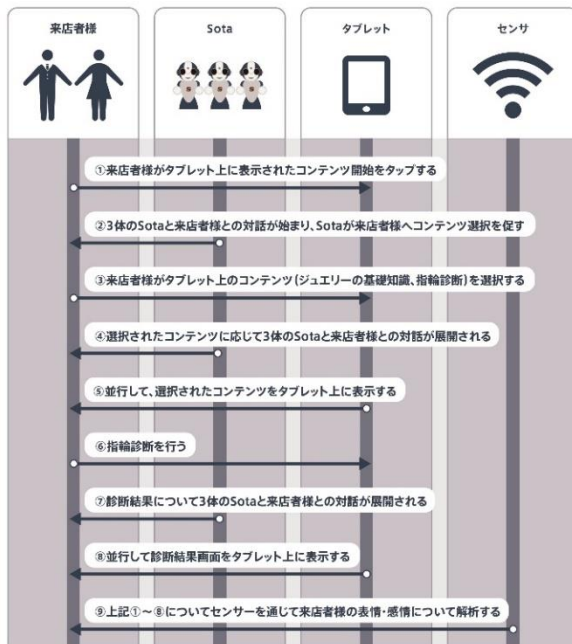
【対話の流れ】

- ・コンテンツが開始されると3体のSotaおよび来店者様との対話が始まります。
- ・来店者様が、Sotaからの質問に対し、「Yes/No」を選択すると、Sotaの対話とタブレット端末の画面を通じて、ジュエリーに関する情報提供を受けることができます。

▼Sota 設置イメージ



▼コミュニケーションのイメージ



▼実施概要

- 日時
2016年7月2(土)・3(日)・9(土)・10(日)日の計4日間
- 場所
・ゼクシィみなとみらいカウンター
住所: 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー29階
・ゼクシィ町田カウンター
住所: 東京都町田市原町田6-4-1 町田東急ツインズWEST7階
- 内容
・ジュエリーの基礎知識
・スタイル別指輪診断
- 評価方法
パンフレットへの興味喚起(手に取る、持ち帰るなどのアクションの有無)やロボットとのインタラクション数を評価予定

※会場の都合により、上記日程での報道関係者様からのご取材はご遠慮頂いております。ご取材を希望される報道関係者様は、7月20日(水)に都内某所で体験会を実施いたしますので、お気軽にリリース末尾の連絡先までお問い合わせくださいませ。

※4 センサーは現在、表情など来店者様の状態を把握するために使用しています。

※5 ロボット単体に限らず、他のロボットや複数のセンサーデバイスを連携させて、利用者や環境状況を正しく認識し、高度な知的処理を行うNTTデータが研究開発を進めている基盤です。

PRESS RELEASE

株式会社リクルートテクノロジーズ

◇ リクルートテクノロジーズについて

株式会社リクルートテクノロジーズは、リクルートグループのビジネスにおける IT・ネットマーケティングテクノロジーの開発・提供を行う機能会社です。IT・ネットマーケティング領域の専門力・イノベーション力で、リクルートグループのビジネスを進化させることがミッションであり、「次世代技術の R&D・新ソリューションの開拓」「ビジネスの実装」といったテーマに取り組んでいます。

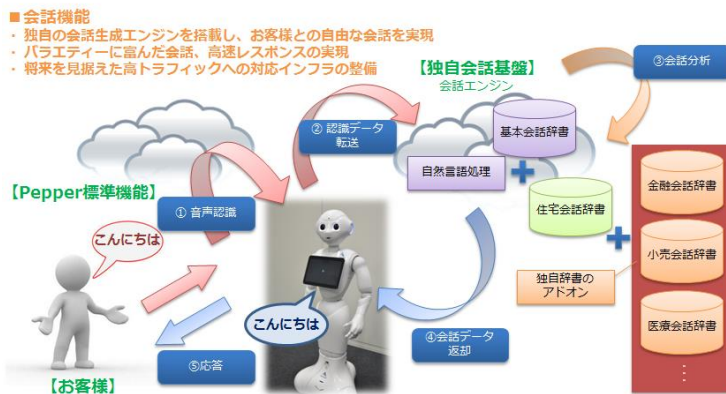
- 社名 : 株式会社リクルートテクノロジーズ
- 設立 : 2012 年 10 月 1 日
- 資本金 : 1 億円
- 従業員数 : 539 名 (2016 年 4 月 1 日現在)
- 事業内容 : IT・ネットマーケティングテクノロジーの 開発・提供
- Web サイト : <http://recruit-tech.co.jp/>

◇ リクルートテクノロジーズの研究開発組織 アドバンスドテクノロジーラボ(ATL)の取り組み

リクルートテクノロジーズ内の研究開発組織であり、多くのサービスを持つリクルートグループの中で、新しい技術の開拓や次のトレンドをいち早く察知し、未来のサービスにいかせるソリューションを生み出す部署です。日常業務では使わないような新しい技術を噛み砕き、使いこなし、その技術をビジネスの武器となるような形で追求していきける環境を設けています。

◇ 独自の対話エンジン搭載、Pepper をスーモカウンターへ設置 ～接客を通じて、家族全員が楽しめるサービスへ～

独自会話機能の仕組み



自然言語処理技術を駆使した取り組みとして 2015 年 12 月、技術開発・アプリケーション開発を担当した独自の対話エンジン「TAISHI」を、ソフトバンクロボティクス株式会社が提供する人型ロボット「Pepper^{※6}」へ導入。スーモカウンター^{※7}の接客担当として全国各地

の 15 店舗へ設置しました。店頭では Pepper に搭載されているタブレットや音声認識の機能を活用し、住宅に関連したサービス案内や、未就学児向けのゲームを提供する他、お客様と自由に対話することが可能です。独自の対話エンジンは、ATL が自然言語処理技術を活用して開発したもので、Pepper のコミュニケーションに限らず、様々な応用が期待されています。

※6 本取り組みは、ソフトバンクロボティクス株式会社が提供する Pepper の法人モデル「Pepper for Biz」を活用し、自社が独自に実施しているものです。

※7 スーモカウンターは、株式会社リクルート住まいカンパニーが運営する店頭サービスです。新築マンションの購入や注文住宅の建築を検討される方に向けて、ご要望に沿った物件や建築会社を中立的な立場で紹介。2005 年 9 月から現在まで、全国 117 店舗に開設しています。

本件に関する報道関係様からのお問合せ先

株式会社リクルートテクノロジーズ PR 事務局 アウル株式会社

TEL: 03-5545-3888 FAX: 03-5545-3887 MAIL: rtc-ml@aur.co.jp